

測量における誤差に関する次の記述 A~D に該当するものをいずれも正しく挙げているのはどれか。

- A. 測量者の視覚の不完全，あるいは器械の操作の不慣れなどから生じる誤差である。
- B. おこる原因がわかっているもので，観測ごとに一定量だけ累積してくる誤差である。したがって，その原因がわかれば測定値を補正したり，取り除くことのできる誤差である。
- C. 器械の構造または調整不完全によって生じる誤差である。
- D. 測量者の不注意，不慣れ，精神的錯覚などから生じる誤差であり，読み誤り，記入の誤り，計算の誤りなどである。

	A	B	C	D
1.	個人誤差	器械誤差	過失	定誤差
2.	個人誤差	定誤差	器械誤差	過失
3.	器械誤差	過失	個人誤差	定誤差
4.	器械誤差	定誤差	個人誤差	過失
5.	定誤差	個人誤差	器械誤差	過失